

国際人口問題議員懇談会 活動の歴史

1974年4月～2007年3月

設立前史

昭和 48 (1973) 年

10月13日～28日

アジア人口事情視察団派遣

派遣団員：岸信介（団長）田中龍夫（衆・自），八田貞義（衆・自），佐藤隆（参・自），山崎竜男（参・自），加藤シヅエ（参・社），阿部昭吾（衆・社），W・ドレーパー，J・タイディングス，花村仁八郎，官庁，マスコミ関係等
訪問先：インド，タイ，インドネシア，フィリピン

国際人口問題議員懇談会の歩み

昭和 49 (1974) 年

4月1日

『国際人口問題議員懇談会』設立

内容：衆・参超党派議員 119 名で発足。

会長：岸 信介

備考：世界初の試みである。

4月25日

『食糧と人口に関する宣言』…国連式典

参加者：佐藤隆（参・自）

場所：国連本部

備考：宣言書署名：佐藤隆（参・自）。8月及び11月の世界人口・食糧会議に先立ち，各国政府に現実的かつ果敢な諸政策を採るよう要請する5項目からなる。宣言文では人口・食糧問題解決の為，国連にリーダーシップをとることを要請した。

7月2日～4日

日本人口会議

参加者：ウイリアム・ドレーパー（UNFPA 顧問），ラファエル・サラス UNFPA 事務局長他

主催：（財）人口問題研究会，日本家族計画連盟，（財）家族計画国際協力財団，人口問題協議会

備考：大来佐武郎議長，斎藤邦吉厚生大臣，岸信介国際人口問題議員懇談会会長他祝辞

8月19日～30日

第3回 国連世界人口会議

主催：国際連合

開催地：ブカレスト

日本からの参加者：斎藤邦吉（厚生大臣），八田貞義（衆・自），佐藤隆（参・自），堂森芳夫（衆・社），柏原ヤス（参・公），中沢伊登子（参・民社）他

備考：過去2回の国際人口会議は専門家会議であり，第1回目の政府間会議。
総勢 4500人

10月7日

IPU 列国議会同盟会議

テーマ：佐藤 隆 参議院議員

「食糧と人口問題」ライス・バンク構想を提唱。

開催地：東京

参加国：65 カ国

主催：列国議会同盟 (IPU)

昭和 52 (1977) 年

9月3日～18日

中南米家族計画視察団

団長：岸信介 (衆・自), 佐藤隆 (衆・自), 住栄作 (衆・自), 安孫子藤吉 (参・自), 和田耕作 (衆・民社), 阿部昭吾 (衆・社), 福岡義登 (衆・社), 吉寺宏 (衆・公),

顧問団 (16名) 大来佐武郎, 花村仁八郎 他 UNFPA 2名, 事務局 5名

訪問先：メキシコ, コロンビア, ブラジル, アメリカ, カナダ

備考：先進国にも途上国にも人口問題に関する議員グループを結成させるべく, 各国立法府議員に呼びかけた。

12月5日～11日

人口と開発先進国会議

1977年9月の中南米視察に引続き各国立法府議員への呼びかけ。

国際議員会議の開催について討議。

開催地：ロンドン, ボン, ベルリン

参加国：日, 米, 英, 加, 西独 (5カ国：16名)

日本からの参加者：佐藤隆 (衆・自), 和田耕作 (衆・民社), 土井たか子 (衆・

社)

昭和 53 (1978) 年

3月28日～30日

人口と開発列国国会議員 (IPOP) 東京会議—第1回国際会議準備会議—

開催地：東京

昭和 54 (1979) 年

8月26日～9月1日

IPOP 国際会議 (IPU:列国議会同盟コロンボ会議)

開催地：スリランカ

参加国：64カ国 他

主催：国連人口活動基金 (UNFPA), 共催：列国議会同盟, その他,

国連各機関, IPPF 等

日本からの参加者：

岸信介 (衆・自), 佐藤隆 (衆・自), 石本茂 (参・自), 中村啓一 (参・自), 柏原ヤス (参・公)

備考：参加総数 550名。人口問題議員グループ, 結成国 25カ国を超えるに到ったので, UNFPA に働きかけ, コロンボで開催。“コロンボ宣言”を採択。この宣言により, 1981年, アフリカ, ヨーロッパ, アジアの各大陸での人口会議が開かれた。1981年7月ケニヤ・ナイロビ。10月中国・北京。12月仏・ストラスブール。1982年12月ブラジル・リオデジャネイロでの議員会議が企画された。

昭和 55 (1980) 年

9月10日～13日

資源、人口、開発に関するアセアン国会議員代表者会議

日本はオブザーバーとして参加し北京会議開催を提案。

合意を取付けた。

開催地：マレーシア・クアラルンプール

参加国：シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア（5カ国）

日本からの参加者：佐藤隆（衆・自）、住栄作（衆・自）、井上普方（衆・社）

昭和 56 (1981) 年

2月23日～24日

「人口と開発に関するアジア国会議員会議 第1回運営委員会」

テーマ：政治、イデオロギーの問題の除外について

開催地：東京

参加国：日本、中国、インド、スリランカ、マレーシア

10月27日～30日

「人口と開発に関するアジア国会議員会議（ACPPD）」

テーマ：アジア地域の国会議員フォーラム設立について

開催地：中国・北京市、人民大会堂

参加者：議長：廖承志（中国全人代副委員長）副：佐藤隆議長 他5名、

司会：陳慕華（中国副総理）起草委員：住栄作 他5名

昭和 57 (1982) 年

2月1日

財団法人アジア人口・開発協会 創立

理事長：田中龍夫（自民党総務会長）、副理事長：佐藤隆（自民党副幹事長）、

理事：住栄作（自民党総務局長）花村仁八郎（経団連副会長）、前田福三郎

（日本電波塔株社長）、監事：斎田慶四郎（財）家族計画国際協力財団事務局長

備考：同日厚生省より設立認可。北京会議時の第3回運営委員会において、発議された「アジア議員フォーラム」の活動母体として創設された。

3月8日～9日

1981年10月30日付“北京宣言”に基づき

「Asian Forum of Parliamentarians on Population and Development (AFPPD)

“人口と開発に関するアジア議員フォーラム”を正式に発足。○AFPPD 発

足に伴い、この委員会はそのまま AFPPD 第1回運営委員会となった。

開催地：インド・ニューデリー

参加国：中国、日本、マレーシア、スリランカ、インド、
オーストラリア

参加機関：UNFPA, IPPF, AYCP

日本からの参加者：佐藤隆（衆・自）、井上普方（衆・社）、他人口問題専門家

昭和 58 (1983) 年

11月16日～18日

元大統領・首相会議 (OB サミット) 第1回総会

開催地：オーストリア国・ウィーン，ホーフブルグ王宮

構成国：(26カ国)

召集者：福田赳夫 議長，クルト・ワルトハイム (前国連事務総長) 事務総長，ブラッドフォード・モース (UNDP 事務総長)

主催：人口と開発に関するグローバル・コミッティ

共催：UNDP

日本からの参加者：福田赳夫元首相，随員：佐藤隆副理事長

昭和 59 年 (1984) 年

2月17日～20日

人口と開発に関するアジア議員フォーラム第1回大会

開催地：インド・ニューデリー，ビギャン・バワン (国際会議場)

参加国：オーストラリア，中国，フィジー，インド，日本，韓国，マレーシア，モルジブ，モンゴル，フィリピン，シンガポール，スリランカ，シリア，タイ，ベトナム，ブータン，キプロス，イラン，イラク，ラオス，ネパール，西サモア，ソロモン諸島，アフガニスタン

参加機関：47機関

8月6日～14日

国連・国際人口会議

テーマ：世界人口行動計画の継続実施のための勧告

開催地：メキシコ

参加国：149カ国

日本からの参加者：日本政府首席代表・湯川宏厚生政務次官，日本政府顧問 田中龍夫 (衆・自) 佐藤隆 (衆・自) 水田稔 (衆・社) 永井孝信 (衆・社) 矢追秀彦 (衆・公) 柄谷道一 (衆・民社) 石井一二 (参・自) 黒田俊夫 (厚生省人口問題審議会委員) 安川正彬 (厚生省人口問題審議会委員)

8月15日

国際人口・開発議員会議開催 (ICPPD)

期間：1984年8月15日～16日

テーマ：国会議員活動の動き。国会議員の役割。将来の行動の原則。

開催地：メキシコ・メキシコシティ，メキシコ国会議事堂

参加国：60カ国

参加機関：GCPPD, AFPPD

日本からの参加者：福田赳夫 (衆・自)，田中龍夫 (衆・自)，三塚博 (衆・自)，佐藤隆 (衆・自)，水田稔 (衆・社)，永井孝信 (衆・社)，矢追秀彦 (衆・公)，柄谷道一 (衆・民社)，石井一二 (参・自)，遠藤正昭，木村道子職員

昭和 60 (1985) 年

2月5日～7日

第1回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：アジアの人口と開発

開催地：東京，外務省国際会議室

参加国：オーストラリア，中国，インド，インドネシア，日本，韓国，マレーシア，ネパール，フィリピン，スリランカ，タイ

主催：財団法人・アジア人口・開発協会（APDA）

4月18日

佐藤隆 JFPF 代表幹事「国連平和賞」を受賞

参加者：ディビッド・J・エクスレイ国連広報センター所長，

岸信介元首相，福田赳夫元首相

場所：東京，赤坂プリンスホテル，クリスタル・パレス・ルーム

4月24日～26日

元大統領・首相会議（OB サミット）第3回総会

期間：1985年4月24日～26日

テーマ：それまでの三つの主要課題に加え，人口問題を取り上げることを決定。人口問題に関するタスクフォースを組織し，主幹に福田赳夫元首相が就任することになった。

開催地：フランス，パリ国際会議場

参加者：福田赳夫元首相（名誉議長），ワルトハイム前国連事務総長（議長），

事務総長：ブラッドフォード・モース UNDP 事務総長

参加国：24カ国

昭和 61 (1986) 年

3月3日～5日

第2回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：アジアにおける人口と開発

開催地：東京，経団連国際会議場

参加国：日本，中国，インド，インドネシア，韓国，スリランカ，タイ

主催：財団法人アジア人口・開発協会（APDA），後援：GCPPD，UNFPA

昭和 62 (1987) 年

2月23日～24日

第3回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：アジアの人口と開発

開催地：バンコク・タイ国国会議事堂 ESCAP 会議場

参加国：中国，インド，インドネシア，韓国，日本，マレーシア，ネパール，シリア，スリランカ，タイ，

主催：財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

7月15日

「サラスさんを偲ぶ会」

参加者：サラス夫人，ナフィス・サディック UNFPA 事務局長等，国会議員有志他関係者

主催：国際人口問題議員懇談会，後援：財団法人アジア人口・開発協会

場所：東京，赤坂プリンスホテル

9月23日～25日

人口と開発に関するアジア議員フォーラム第2回大会

テーマ：アジア地域の人口問題解決に向けた国会議員連携の強化について

開催地：中国・北京市，人民大会堂，崑崙ホテル国際会議場

参加国：オーストラリア，バングラデシュ，中国，朝鮮民主主義人民共和国，インド，日本，マレーシア，モルジブ，モンゴル，ネパール，パキスタン，フィリピン，韓国，スリランカ，シリア，タイ，ベトナム，イラク，ブータン，キプロス，インドネシア，キリバス，トンガ，ヨーロッパ議員人口研究グループ

参加機関：16機関

9月26日～29日

「中国人口事情現地視察団」派遣

有島重武（衆・公），谷津義男（衆・自），城地豊司（衆・社），高桑栄松（参・公），三治重信（参・民社）。中国・国家計画生育委員会との協力で，山東省家族計画プロジェクトを視察

昭和63（1988）年

2月29日～3月1日

第4回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：アジアの人口と開発

開催地：クアラルンプール・マレーシア国国会議事堂および
パンパシフィックホテル・ボールルームB

参加国：オーストラリア，中国，インド，日本，韓国，
ニュージーランド，シンガポール，スリランカ，シリア，タイ，
マレーシア

主催：財団法人アジア人口・開発協会（APDA），共催：マレーシア人口・
資源・開発議員連盟，UNFPA，IPPF，ICOMP

7月1日

『アジア人口30億人の日』アナウンスメント発表

主催：人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD），

共催：国際人口問題員懇談会，財団法人アジア人口・開発協会

場所：東京，東京プリンスホテル

10月19日～26日

「バングラデシュ人口事情視察議員団」派遣

団長：中西一郎（参・自），副団長：井上普方（衆・社），武村正義（衆・
自），田代由紀男（参・自），平石磨作太郎（衆・公），大矢卓史（衆・民社）

訪問先：バングラデシュ・ダッカ，パンチドナ

11月23日

「タイ国人口・開発国会議員訪日視察団」受入

期間：1988年11月23日～29日

受入議員：プラソップ・ラタナコーン上院議員他5名

訪問先：東京都養育院他を視察

平成元（1989）年

2月17日～18日

「第5回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議」

テーマ：21世紀に向けて---人口転換と経済社会開発

開催地：フィリピン・マニラ，PICC

参加国：日本，中国，インド，フィリピン，ネパール，シリア，タイ，インドネシア，韓国，マレーシア

参加機関：AFPPD，UNFPA，IPPF

日本からの参加者：福田赳夫（衆・自），田中龍夫理事長（衆・自），佐藤隆副理事長（衆・自），武村正義（衆・自），関山信之（衆・社），矢追秀彦（衆・公），阿部昭吾（衆・社民連）。

4月10日～15日

バングラデシュ議員団受入

M・A・モティン副首相，M・ワハブ議員，S・U・アーメド議員

訪問先：国際人口問題議員懇談会メンバーと交流，
東京厚生年金病院視察等を実施。

平成2（1990）年

3月12日～14日

「人口と女性の地位に関するアジア女性議員会議」開催

テーマ：開発におけるアジア女性の役割の変遷，女性と人口，人口と女性の地位に関わる立法の現状

開催地：インド・国ニューデリー，ヴィギャン・バワン国際会議場

参加国：中国，インド，インドネシア，日本他，計25カ国，
約100名参加

日本からの参加者：広中和歌子（参・公），津谷典子

3月18日～21日

「インドネシア人口・開発事情視察議員団」派遣

団長代理：桜井新（衆・自），副団長，三治重信（参・民社）伊藤忠治（衆・社）広中和歌子（参・公）専門家 黒田俊夫（日本大学人口研究所名誉所長）（他随員2名）

訪問先：インドネシア・バリ

3月22日～23日

第6回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：人口と開発---21世紀に向けての戦略

開催地：インドネシア・ジャカルタ，インドネシア国国会議事堂，
ボロブドゥールホテル会議室

参加国：日本，中国，インド，韓国，インドネシア，マレーシア，
フィリピン，タイ，ネパール，ニュージーランド，シンガポール，
スリランカ

主催：財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

共催：インドネシア国人口・開発フォーラム，AFPPD

後援：UNFPA，IPPF

5月20日～26日

「インドネシア国人口・開発事情視察議員団」受入
スルヤティ国会副議長，T・ノール議員，B・スパンガ議員，
S・S・イスノモ議員，H・Y・モコギンタ議員
訪問先：国立医療センター等

8月26日～9月1日

「スリランカ人口・開発事情視察議員団」派遣
派遣団員：団長 井上普方（衆・社）団長代理，桜井新（衆・自）
副団長，三治重信（参・民社），田代由紀男（参・自），
鹿熊安正（参・自），肥田美代子（参・社），高桑栄松（参・公）
訪問先：プレマダーサ大統領表敬，スリランカ人口・開発議員連盟メンバー
との懇談及び母子保健家族計画クリニック等の視察を行った。

10月15日～18日

人口と開発に関するアジア議員フォーラム第3回大会
テーマ：21世紀におけるアジア人口と社会開発
開催地：タイ・バンコク，国会議事堂，ドゥシタニホテル
参加国：アフガニスタン，オーストラリア，バングラデシュ，中国，朝鮮
民主主義人民共和国，インド，インドネシア，日本，フィリピン，大韓民
国，スリランカ，シリア，タイ，ベトナム，キプロス，イラク，ラオス，
モンゴル，パプア・ニューギニア，西サモア，イエメン，21カ国，161名
参加機関（12機関）：UNFPA，ILO，WHO，ESCAP，FAO，UNHCR，GCPPD，
IPPF，JOICFP，ポピュレーションカウンシル，IOM，APDA

平成3（1991）年

2月25日～26日

「第7回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議」
テーマ：アジアの人口と開発ーバンコク宣言の達成方策
開催地：韓国・ソウル，ウォーカーヒルホテル会議室
参加国：日本，中国，インド，インドネシア，韓国，マレーシア，
パキスタン，フィリピン，シンガポール，スリランカ
主催：財団法人アジア人口・開発協会
日本からの参加者：佐藤隆理事長（衆・自），水田稔（衆・社），東祥三（衆・
公），阿部昭吾（衆・社民連），亀井久興（衆・無），鹿熊安正（参・自），高
桑栄松（参・公），広中和歌子（参・公），三治重信（参・民社），〔事務局〕：
青木洋子事務局次長，遠藤正昭業務課長，後藤まき子

4月15日～22日

「スリランカ人口・開発事情視察議員団」受入
受入議員：アトラットムダリ教育・高等教育大臣，ネヴィル・フェルナン
ド議員，D・セナナヤケ議員，L・キリエラ議員，P・カシナダール議員
訪問先：国立医療センター，麴町保健所等の医療施設の視察及び，国際人口
問題議員懇談会メンバー：との懇談を行なった。

7月16日～30日

「アフリカ人口・開発事情視察議員団」派遣（JOICFP主催）
派遣団員：団長 鹿野道彦（衆・自），副団長 阿部昭吾（衆・社民連），
副団長 矢追秀彦（衆・公），副団長 三治重信（参・民社），桜井新（衆・自），高桑栄松（参・公），東祥三（衆・公），池田治（参・連合），清水嘉与子（参・自），鹿熊安正（参・自）
ジンバブエ，ケニア，ガーナで人口・開発議員と懇談，保健・家族計画プロジェクトを視察した。

11月9日～17日

「ベトナム人口・開発事情視察議員団」派遣
派遣団員：団長：井上普方（衆・社），阿部昭吾（衆・社民連），三治重信（衆・民社），桜井新（衆・自），高桑栄松（参・公）
訪問先：ベトナム・ホーチミン，フエ，ダナン，ハノイ
備考：ベトナム国会社会医療委員会メンバーと懇談，人口・家族計画プロジェクトを視察。

平成4（1992）年

2月24日～3月1日

「ベトナム人口・開発事情視察議員団」受入
グエン・チ・ゴク・フォン国会副議長（団長），グエン・ティ・タン（副団長），チュオン・ティ・クエ議員，グエン・ティ・ホアイ・トゥ議員，グエン・フー・ドゥ議員，ロン・ティ・クエ議員
訪問先：国会議事堂，厚生省，日本赤十字病院医療センター，日本赤十字中央血液センター

2月25日

人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）
・財団法人アジア人口・開発協会（APDA）設立10周年記念式典
場所：東京，ホテルニューオータニ
主催：財団法人アジア人口・開発協会，人口と開発に関するアジア議員フォーラム
後援：国連人口基金（UNFPA），国際家族計画連盟（IPPF）

2月25～26日

第8回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議
テーマ：アジアにおける人口と持続可能な開発—環境問題との関連—
開催地：東京，ホテルニューオータニ
参加国：日本，中国，インド，インドネシア，バングラデシュ，韓国，マレーシア，ネパール，ニュージーランド，フィリピン，シンガポール，シリア，スリランカ，タイ，オーストラリア，ベトナム
主催：財団法人アジア人口・開発協会（APDA）

8月20日～21日

第4回アジア太平洋人口会議
テーマ：1994年国際人口会議にむけてアジアの人口状況を検討。
参加者：桜井新 JFPF 代表幹事，広瀬次雄 APDA 事務局長
開催地：インドネシア，バリ
主催：国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）
参加機関：UNFPA 他

10月18日～25日

「インド人口・開発事情視察団」派遣
団長：高桑栄松（参・公），水田稔（衆・社），谷津義男（衆・自），
水嘉与子（参・自），堂元暁子（参・さきがけ），池田治（参・連合），
広瀬次雄事務局長，桜井久美子，安藤博文（UNFPA）
石井澄江（JOICPF），ジェーン・ダーヴェーンポート
訪問先：インド・ボンベイ，デリー，アグラ，ジャイプール

平成5（1993）年

2月25日～26日

第9回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議
テーマ：1994年国際人口開発会議に対する活動戦略「AFPPD プロポーザル」
の検討
開催地：ベトナム・ハノイ，タイホーホテル会議場
参加国：日本，中国，インド，韓国，インドネシア，ハングラディシュ，
マレーシア，タイ，ネパール，ニュージーランド，フィリピン，パキスタ
ン，シンガポール，スリランカ，シリア，ベトナム
参加機関：APDA，UNFPA，IPPF，GCPPD

10月24日～11月1日

「マレーシア及びシンガポール人口・開発事情視察議員団」派遣
派遣団員：桜井新 団長（衆・自），阿部昭吾（衆・社民連），肥田美代子（参・
社），南野知恵子（参・自），栗原博久（衆・自），斉藤鉄夫（衆・公），川橋幸
子（参・社），広瀬次雄常務理事，桜井久美子
訪問先：マレーシア（セランゴール・マラッカ他，8名），
シンガポール（2名）

10月26日～28日

人口と開発に関するアジア議員フォーラム第4回大会開催
テーマ：21世紀へのアジアの挑戦—人口と開発—
開催地：マレーシア・クアラルンプール
参加国：日本，中国，インド，インドネシア，タイ，フィジー，ヨルダン，
ニュージーランド，トンガ，イエメン，カメルーン，キリバス，
ロシア，西サモア等31カ国
主催：AFPPD，マレーシア人口・開発議員連盟
後援：国連人口基金，国際家族計画連盟
備考：「クアラルンプール宣言」を採択

平成6（1994）年

3月3日～4日

第10回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議
テーマ：21世紀における女性—繁栄と平和の戦略
開催地：中国・北京，メディアホテル・大ホール
参加国：オーストラリア，バングラデシュ，中国，インド，インドネシア，
日本，韓国，マレーシア，ニュージーランド，フィリピン，シンガポール，
スリランカ，シリア，タイ，ベトナム。参加機関：UNFPA，IPPF，AFPPD
他

4月2日～8日

「国際人口・開発会議準備会議 (PrepComIII)」及び「国際人口・開発会議
へ向けての世界議員会議準備会議」

テーマ：カイロで開催される国会議員会議の準備

開催地：米国・ニューヨーク

参加国：173カ国

参加機関：GCPPD, AFPPD, IAPG, PGA, UNFPA, IPPF

日本からの参加者：中山太郎 JFPF 会長 (衆・自),

桜井新 AFPPD 議長 (衆・自), 堂本暁子 (参・さきがけ),

南野知恵子 (参・自)

5月22日～29日

インド人口・開発議員連盟日本の人口・開発事情視察のため来日

団員：マヘンドラ・ブラサッド議員 (団長), シフ・ブラサド・チャンプリア議員, タラ・シン議員, スルヤ・ナライン・ヤダフ議員, ディリプ・シン・ブリア議員,

訪問先：群馬県館林保健所, 市保健センター, 厚生病院、厚生省, 国会, 松下電器情報通信システムセンター等を訪問, 福田赳夫元総理, 羽田孜総理を表敬

6月6日～11日

マレーシア人口・開発議員連盟日本の人口・開発事情視察

団員：アーマッド・オマール議員 (団長), ノード・カレッド・ノルディン議員, マイケル・リサ・カヤ議員, ロザリンド・ヤウ・ソク・ミン議員,

訪問先：新潟県南魚沼郡のゆきぐに大和総合病院, 国際大学, 厚生省, 国会, 国立国際医療センター, ソニーメディアワールドを訪問

7月8日～12日

「国際人口・開発議員会議」(ICPPD) 準備委員会

テーマ：国際人口開発議員会議開催について

開催地：エジプト・カイロ

参加国：日本, タイ, デンマーク, エジプト, ザンビア, ジンバブエ, チュニジア 他。参加機関：UNFPA, IPPF, AFPPD, IAPG, IMPO, PGA

日本からの参加者：桜井新 環境庁長官・AFPPD 議長, 楠本修主任研究員

9月3日～9月4日

「国際人口・開発議員会議 (ICPPD)」

ICPPD「カイロ宣言」を採択

開催地：エジプト・カイロ, メリディアン・ホテル

参加国：世界117カ国から300名が参加

参加機関：UNFPA, WHO, UNICEF, UNU, WB, IOM, IPPF, Council of Europe

備考：人口と開発に関する国会議員会議として最大の会議となった。

ムスタファ・カマル・エルミーエジプト上院議長が会議議長, 桜井新 AFPPD 議長が会議事務総長を務めた。この会議を契機としてアフリカ・アラブ地域における常設の人口・開発に関する国会議員フォーラムが準備された。

9月5日～11日

国際人口開発会議（ICPD）

開催地：エジプト，カイロ，国際会議場

日本からの参加者：桜井新 AFPPD 議長（衆・自），小杉隆（衆・自），清水嘉与子（参・自），川橋幸子（参・社），広中和歌子（参・公），中西珠子（参・公）

備考：政府間会議である同会議ではリプロダクティブヘルス概念を中心に，2015年までの人口プログラムである行動計画（PoA）が採択された。ICPPD 事務総長を務めた桜井新 AFPPD 議長が，持続可能な開発の重要性を訴えるステイットメントの発表を行い，その内容は国際人口開発会議行動計画に反映された。

11月15日～21日

「中国人口・開発事情視察議員団」派遣

団長：原田昇左右（衆・自），中島洋次郎（衆・自），宇佐美登（衆・さきがけ），福島豊（衆・公），大淵絹子（参・社）

訪問先：中国，北京・上海・浙江省杭州

平成7（1995）年

3月4日～5日

国際人口・社会開発国会議員会議（IMPPSD）

テーマ：貧困・失業・女性の地位向上・社会開発の解決

開催地：デンマーク・コペンハーゲン

参加国：世界53カ国

参加機関：UNDP，WHO，UNESCO，UNICEF，IPPF，UNFPA，IOM，
Council of Europe，Population Council，IMPO

3月12日～20日

「中国議員団による日本の人口・開発事情視察団」受入

期間：1995年3月12日

団員：趙東宛・中国全人代教育科学文化衛生委員会（ESCPH）議長，郝詒純（ハオ・イ・チュン）ESCPH 副議長・AFPPD 副議長，常崇焯（チャン・チョン・シュアン）ESCPH 委員他3名

訪問先：厚生省，国会，東京都養育院，松下電器通信情報システムセンター等。

3月14日～15日

第11回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：21世紀における女性－平和と繁栄への戦略

開催地：東京，ホテルニューオータニ

参加国：オーストラリア，バングラデシュ，中国，インド，インドネシア，日本，韓国，ネパール，ニュージーランド，シンガポール，シリア，タイ，ベトナム，ジンバブエ，ザンビア（15カ国）

参加機関：UNFPA，IPPF，AFPPD

7月14日～15日

AFPPD 女性委員会

参加者：南野知恵子（参・自），楠本修 APDA 主任研究員

訪問先：フィリピン・マニラ

8月30日～9月1日

国際女性・人口・開発議員会議（IMPGPD）開催
開催地：東京・ホテルニューオータニ
参加国：58カ国からの国会議員および国際機関等約210名が参加
議長：清水嘉与子 国際人口問題議員懇談会事務総長
国際人口問題議員懇談会が主催。参加機関：JFPF, AFPPD, GCPPD, IAPG, AMECPD, IMPO, UNPPA, IPPF, APDA
備考：「国際女性、人口・開発議員会議「東京宣言」を採択

平成8（1996）年

2月8日～17日

「フィリピン人口・開発事情視察議員団」派遣
テーマ：フィリピン国の人口開発事情視察
訪問先：フィリピン国（マニラ、カビテ、タラック）

2月12日～13日

第12回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議
テーマ：21世紀にける女性-平和と繁栄の戦略-
開催地：フィリピン、マニラホテル
参加国：オーストラリア、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、シリア、タイ、ベトナム
参加機関：UNFPA, IPPF, AFPPD
備考：フィデル・ラモス フィリピン国大統領が基調講演。
ネプタリ・A・ゴンザレス上院議長が開会宣言。

4月30日～5月3日

「食糧安全保障と人口に関する AFPPD 特別運営委員会」
テーマ：FAO 地域総会に向けた AFPPD ステイツメントの協議・採択
開催地：マレーシア・クアラルンプール
参加国：日本、マレーシア、オーストラリア、タイ、ベトナム、シリア、パキスタン
参加機関：AFPPD, APDA, UNFPA, IPPF

5月15日～19日

「第23回 FAO アジア太平洋地域総会」
開催地：西サモア・アピア・北野タキシラホテル
桜井新 JFPF 代表幹事、谷津義男 JFPF 幹事が参加。
参加国：
オーストラリア、バングラデシュ、カンボジア、中国、クック諸島、朝鮮民主主義人民共和国、フィジー、インド、インドネシア、イラン、日本、大韓民国、マレーシア、モルジブ、モンゴル、ミャンマー、ネパール、ニュージーランド、フィリピン、サモア、ソロモン諸島、タイ、トンガ、アメリカ合衆国、ヴァヌアツ、ベトナム、ドイツ、イタリア
参加機関：AFPPD, UNDP, UNICEF, WFP, UNESCO, WHO, ADB, SPC, SPREP 等

6月6日～14日

「フィリピン国人口・開発事情視察議員団」受入
団長・ジェロメ・パラス下院議員、ヘルナン・ブラクゥアンザ下院議長他事務局4名
訪問先：厚生省人口問題研究所、大阪府立母子保健総合医療センター等を訪問

9月25日～27日

「人口と開発に関するアジア議員フォーラム第五回大会
ー食料安全保障と人口・開発ー」開催
テーマ：食料安全保障と人口・開発
開催地：オーストラリア・キャンベラ
参加国：29カ国
参加機関：FAMEPPD, IAPG, UNFPA, IPPF 他

平成8(1996)年

11月10日～11日

「国際食料安全保障・人口・開発議員会議 (IPMFSPD)」開催
テーマ：食料安全保障・人口・開発
開催地：スイス・ジュネーブ, ペンタホテル
参加国：57カ国 90人の国会議員, 国際機関をあわせ 116名が参加
参加機関：AFPPD, FAMEPPD, IAPG, IMPO, PGA

11月12日～14日

「世界食料サミット」に参加
イタリア、ローマ国連食料農業機関 (FAO) で開催。

平成9(1997)年

3月17日～18日

第13回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議
テーマ：「人口・水資源・開発」
開催地：兵庫県・神戸市, 神戸国際交流協会国際会議室
参加国：
オーストラリア, 中国, フィジー, インド, インドネシア, 日本, マレー
シア, ネパール, ニュージーランド, フィリピン, シンガポール, タイ, ベ
トナム
主 催：APDA
後援：UNFPA, IPPF, AFPPD, 兵庫県, 神戸市, 神戸都市情報センター

4月29日～5月5日

「人口と開発に関するアフリカ・アラブ議員フォーラム (FAAPPD)」設立
総会に参加。ICPPD でその設立を呼びかけた FAAPPD の設立総会に桜井新
国際人口問題代表幹事が参加。挨拶を述べる。
開催地：南アフリカ・ケープタウン
参加国：ザンビア, 中央アフリカ共和国, ギニア, ベニン, コンゴ共和国,
セネガル, モーリシャス, サントメ・プリンシペ, ケニア, ガーナ, ヨルダ
ン, スワジランド, チュニジア, トーゴ, レバノン, パレスチナ, エチオピ
ア, ジンバブエ, エジプト, 南アフリカ, ウガンダ, ガボン, セイシェル,
コートジボアール, ニジェール, ブルキナ・ファソ, モーリシャス, マラウ
イ, ザイール, タンザニア, ブルンジ, ガーボ・ベルデ、日本 (桜井新 JFPF
代表幹事)
参加機関：UNFPA, IPPF, AFPPD, APDA 他

9月15日～19日

「オーストラリア人口・開発事情視察議員団」受入
団長コリン・ホリス下院議員，バリー・ジョーンズ下院議員，アレックス・ソムリエイト下院議員，シャーマン・ストーン下院議員，マーク・ラスキン
IPPF 事務局長補佐

平成10(1998)年

4月4日～5日

第14回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議
テーマ：カイロ会議からの検証と食料問題
開催地：インド国・ニューデリー，国会会議場別館
参加国：オーストラリア，バングラデシュ，中国，フィジー，インド，インドネシア，日本，韓国，マレーシア，ネパール，パキスタン，セネガル，シンガポール，スリランカ，タイ，ベトナム（16カ国）
参加機関：APDA 主催，UNFPA，AFPPD 後援，UNICEF 他

11月17日～21日

「カンボジア国人口・開発事情視察議員団」派遣
派遣団員：
団長・谷津義男（衆・自），清水嘉与子（参・自），南野知恵子（参・自），武山百合子（衆・自由）
訪問先：カンボジア国・プノンペン市，カンダール州
備考：S・チュア・シム国会議長並びにC・タン保健大臣表敬。国立母子保健センター，女性問題省，国立統計研究所等を視察。

平成11(1999)年

2月4日～6日

国際人口開発会議から5年評価のための国際議員フォーラム（IFP）
テーマ：ICPD以降の国会議員活動の検証
開催地：オランダ国・ハーグ
参加国 103カ国から210議員参加
参加機関：UNFPA，IPPF，AFPPD，FAAPPD，IAPG，PGA

2月6日

国連：国際人口開発会議から5年評価のための国際フォーラム
テーマ：ICPD以降の行動計画の進捗状況とその障害について各国の活動を検討。
開催地：オランダ国・ハーグ
主催：UNFPA
備考：IFP ハーグ宣言を本会議長で桜井新 AFPPD 議長が発表。

2月21日～26日

「カンボジア国人口・開発事業視察議員団」受入
ムエン・ソムアーン議員（団長），キー・ルム・アン議員，ニン・サボン議員，エク・バンディ議員，チュオン・ブントール議員，ソック・サン議員，キム・ソア・フィリトウ議員，ソル・カプン議員

3月21日～27日

ミャンマー連邦人口・開発事情視察

派遣団員： 団長：横山正明（衆・自），副団長：円より子（参・民主），能勢和子（衆・自），山中燦子（衆・平和）

訪問先：キン・ニユン第一書記・入国管理人口大臣，ミャンマー母子福祉協会等を表敬，視察。

3月21日

「国連人口特別総会・準備会議」参加。

期間：1999年3月21日～27日

開催地：米国・ニューヨーク

日本からの参加者：桜井新 AFPPD 議長，楠本修主任研究員

備考：ホノルルで趙利済・東西センター顧問と対談。

4月18日～19日

第15回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：国連人口特別総会に向けたアジアの行動

開催地：韓国・ソウル，プラザホテル

参加国：オーストラリア，バングラデシュ，カンボジア，中国，フィジー，インド，インドネシア，カザフスタン，韓国，キルギスタン，日本，マレーシア，ニュージーランド，パキスタン，フィリピン，シンガポール，スリランカ，タイ，ウズベキスタン，ベトナムの20カ国

参加機関：APDA 主催，UNFPA，IPPF，AFPPD

9月1日～2日

AFPPD「CISならびに極東アジア諸国人口・開発国会議員会議」

参加者：桜井新 AFPPD 議長（衆・自），谷津義男 JFPF 副幹事長（衆・自），

松岡利勝（衆・自），楠本修主任研究員

開催地：モンゴル国会

参加国：日本，中国，韓国，キルギスタン，カザフスタン，トルクメニスタン，タジクスタン，ウズベキスタン，ロシア

参加機関：UNFPA，APDA

備考：ウランバートル宣言を採択

9月27日

大阪国際フォーラム「少子・高齢化をどう乗り切るか」

趙利済（東西センター顧問），小川直宏（日本大学教授），ロバート・クリケット人口・家族研究センター名誉所長，中山太郎理事長が講演。ニザムディン UNFPA 技術政策部長がパネルディスカッションに参加。

主催：APDA・UNFPA

後援：大阪府，大阪市，（社）関西経済連合会，NHK 大阪放送局

場所：南海サウスタワーホテル

10月3日～4日

人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）第6回大会

テーマ：次の千年におけるアジアの人口

開催地：新潟県・新潟市，佐渡島

参加国：アジア・太平洋地域からオーストラリア，バングラデシュ，カンボジアなど26カ国，アフリカ・アラブ地域からガーナとザンビアの2カ国，合計28カ国から，国会議員98名，オブザーバーを含め総計約170名が参加

参加機関：国際人口問題議員懇談会（JFPF）共催，国連人口基金，新潟県，APDA 後援

10月5日

AFPPD 第6回大会研修ツアーを実施

訪問先：佐渡島佐和田町の特別養護老人ホーム，佐渡金山跡，トキ保護センターを視察

10月21日～22日

ヨーロッパ・カウンスル移民・難民・人口委員会

「人口学的変化と持続可能な開発に関する国会議員会議」

日本からの参加者：

谷津義男農林水産総括政務次官（衆・自），楠本修主任研究員

備考：谷津義男・農林水産総括政務次官／国際人口問題議員懇談会幹事が，人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）の桜井新議長／国際人口問題議員懇談会幹事長の基調講演「人口と開発における国会議員の役割」を代読。ヨーロッパ全体をカバーする人口・開発グループの設立を決定。

平成12（2000）年

3月18日～20日

第16回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：20世紀の行動を検証し，21世紀への課題を討議

開催地：タイ国・バンコク，インターコンチネンタルホテル

参加国：日本，オーストラリア，中国，フィジー，インド，マレーシア，タイ，ベトナム，キルギスタン，フィリピン，バングラデシュ，カンボジア，ブータン，インドネシア，カザフスタン，ラオス，モンゴル，ネパール，ニュージーランド，韓国，シンガポール，タジクスタン，ウズベキスタン

参加機関：UNFPA，IPPF，AFPPD，ESCAP，UNIFEM，UNEP

2000年9月1日

谷津義男（衆・自）国際人口問題議員懇談会幹事長がAFPPD議長に就任。

備考：AFPPD第6回大会参加各国の承認による。

10月18日

張維慶・中国国家計画生育委員会主任（大臣）と人口懇談役員との懇談会

参加者：谷津義男 JPPF 幹事長，森山真弓同副会長，関谷勝嗣同副会長，広中和歌子同副会長，清水嘉与子同事務総長，南野知恵子同副事務総長，広瀬次雄常務理事，星合千春国際課長，加藤祐子渉外課長が出席

11月12日～17日

モンゴル議員団日本の人口と開発事情視察

受入議員：トグシュジャロガル・ガンディ議員（団長），エルデン・ゴンボジャブ議員，デルジェー・ツェベンジャブ議員，ニヤムジャブ・ソドノムドルジ議員

訪問先：国立社会保障・人口問題研究所，家族計画国際協力財団，厚生省，帯広畜産大学などを訪問。

平成 13 (2001) 年

5 月 4 日～5 日

第 17 回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議

テーマ：アジアの食料安全保障、水資源と人口

開催地：ニュージーランド国・オークランド、ヘリテージ・オークランドホテル

参加国：日本、ニュージーランド、オーストラリア、中国、インド、タイ、マレーシア、ベトナム、キルギスタン、フィリピン、バングラデシュ、カンボジア、インドネシア、ラオス、モンゴル、シンガポール、イラン、スリランカ、韓国、ソロモン諸島、サモア (21 カ国)

参加機関：UNFPA, IPPF, AFPPD, NZPGPD, NZFPA

8 月 5 日～9 日

韓国国会議員団が人口・開発事情視察のため訪日

ミ・エ・チュ議員 (団長) を含む 4 人の国会議員と事務局 1 名が来日。東京では東京都老人医療センターや国立社会保障・人口問題研究所などを訪問。また、神戸へ移動し、総合福祉施設の「しあわせの村」を視察。

9 月 22 日～24 日

キルギスで開催された AFPPD 地域セミナー “CIS およびアジア諸国国会議員会議—人口と開発—貧困とその克服策—” に谷津義男 AFPPD 議長が出席。開会式で挨拶。

11 月 11 日～16 日

人口・開発事情視察のため、ラオス人民民主共和国へ大淵絹子・参議院議員と生方幸夫・衆議院議員を派遣。ラオスの UNFPA や JICA のフィールドプロジェクトなどを視察。

11 月 29～30 日

「開発協力とパートナーシップに関するアフリカ・アジア国会議員会議」

テーマ：アフリカ・アジアの開発協力とパートナーシップ

開催地：東京・ホテルニューオータニ

参加国：アフリカ地域 13 カ国、アジア地域 16 カ国

アフリカ地域：

カメルーン、中央アフリカ、エチオピア、ガーナ、ギニア、象牙海岸、ケニヤ、マダガスカル、ナイジェリア、南アフリカ、セネガル、タンザニア、ウガンダ、ジンバブエ、

アジア・太平洋地域：

オーストラリア、バングラデシュ、カンボジア、中国、フィジー、インド、インドネシア、日本、キルギスタン、ラオス、マレーシア、モンゴル、ニュージーランド、フィリピン、タイ、ベトナム

参加国会議員：51 名、専門家・国際機関など 100 名が参加

主催：AFPPD、共催：国際人口問題議員懇談会 (JPFP)、財団法人アジア人口・開発協会 (APDA)、後援：外務省、国連人口基金 (UNFPA)

谷津義男 AFPPD 議長が主催者挨拶、南野知恵子・厚生労働副大臣が開会宣言、鮫島宗明衆議院議員がリソースパーソンを務めた。

アフリカ・アジア地域の国会議員が果たすべき役割を行動志向で纏め上げた「アフリカ・アジア国会議員会議 行動計画」が採択された。

12 月 4 日

TICAD-III 準備のための閣僚級会合

TICAD (アフリカ開発会議) に谷津義男 AFPPD 議長、遠藤正昭業務課長が参加。谷津 AFPPD 議長がステイタメントを発表し、アフリカ・アジア国会議員会議「行動計画」を提出した。

平成 14 (2002) 年

1月12日～19日

人口・開発事情視察のため、国会議員団を東アフリカに派遣
アフリカ地域で蔓延する HIV/AIDS 問題を含む人口問題、深刻な水不足への対応を検討するために国際人口問題議員懇談会メンバーをタンザニア、ウガンダ、ケニアに派遣。

3月26日

「財団法人アジア人口・開発協会設立 20 周年記念式典」
福田康夫・内閣官房長官をはじめ所管省庁の坂口力・厚生労働大臣、川口順子・外務大臣、武部勤・農林水産大臣が挨拶。
場所：日本・東京（ホテルニューオータニ）

5月5日～6日

「AFPPD・中央アジア地域セミナー」
議題： CIS 地域の水と健康・人口
開催地：カザフスタン国アルマティ市
日本からの参加者：谷津義男衆議院議員・AFPPD 議長、楠本修・APDA 事務局長補佐

7月7日～13日

ラオス国人口・開発事情視察議員団受入
日本の人口・開発事情視察のためトンパン・チャンタラーノン議員（団長）他国会議員 4 名を受入。

8月26日～9月5日

持続可能な開発に関する世界サミット（WSSD）
出席議員：谷津義男 AFPPD 議長、河野太郎・衆議院議員他
開催地：南アフリカ国ヨハネスブルグ
備考：UNCED から 10 年

10月17日～19日

「AFPPD 第 7 回大会（設立 20 周年記念）」
議題：21 世紀におけるアジアの人口と開発
開催地：中国・北京
参加国：日本、アフガニスタン、オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、フィジー、インド、インドネシア、イラン、カザフスタン、キリバス、韓国、キリギス、ラオス、マレーシア、モルジブ、モンゴル、ネパール、フィリピン、ソロモン諸島、タジクスタン、タイ、トンガ、トルクメニスタン、ベトナム日本をはじめ、アフガニスタン、オーストラリア、バングラデシュのアジア太平洋 27 カ国の国会議員及びアフリカ、ヨーロッパなど世界各地の地域議連の代表者、UNFPA、IPPF、UNDP、UNIFEM、WHO、APDA など国際機関・組織の代表を含め、合計約 200 名が参加。谷津義男議員が議長に再選された。

11月21日・22日

ICPD 行動計画実施のための 2002 年国際国会議員会議（IPCI）
開催地：カナダ国オタワ市、カナダ国会
日本からの参加者：谷津義男 AFPPD 議長、楠本修・APDA 事務局長補佐
備考：世界 70 カ国から 13 名の国会議員が参加。主催：カナダ人口・開発議員連盟（CAPPD）。谷津義男 AFPPD 議長が起草委員長を務め、オタワ公約を採択。

12月15日～20日

中国高齢化事情視察議員団派遣

中国の高齢化事情視察のため、日本国国会議員 4 名を中国に派遣（団長：清水嘉与子・参議院議員）。陶西平・中国全人代教育科学文化衛生委員会委員を表敬。北京、西安、上海で老人ホーム、上海市民生局などを訪問し、高齢化対策について意見交換を行い、高齢化対策の国際協力について懇談した。

12 月 12・13 日

国際人口開発会議行動計画実施のためのアジア国会議員会議
議題：「ESCAP アジア太平洋人口会議」に対する
アジア太平洋地域の国会議員による提言
開催地：タイ・バンコク
日本からの参加者：加藤修一参議院議員

12 月 16 日

ESCAP アジア太平洋人口会議
開催地：タイ・バンコク
日本からの参加者：谷津義男・衆議院議員

平成 15（2003）年

2 月 7 日・8 日

AFPPD 食料安全保障常任委員会会議
議題：アジアの食料安全保障・水資源・人口
開催地：タイ国、バンコク
日本からの参加者：桜井新 AFPPD 食料安全保障常任委員長、松岡利勝（衆・自）、
金田英行（衆・自）、椎名一保（参・自）、柏村武昭（参・自）

3 月 7 日～12 日

世界銀行国会議員ネットワーク会議
出席議員：谷津義男 JFPF 幹事長
開催地：ギリシャ・アテネ

6 月 11 日

ベトナム議員団訪日
グエン・ティ・ホアイ・トゥ・ベトナム国会社会委員長を団長とするベトナム国会議員
団が、ベトナム人研修生の日本における状況を視察するために訪日

7 月 31 日～8 月 4 日

「HIV/AIDS に関する南アジア国会議員会議」
インド国・ニューデリー市
日本からの参加者：谷津義男（衆・自）AFPPD 議長、広瀬次雄 APDA 常務理事・事務
局長、楠本修 APDA 事務局長補佐

8 月 9 日～17 日

南部アフリカ人口・開発事情視察議員団派遣（JTF 事業）
日本政府信託基金事業として、南部アフリカ派遣事業を実施。ザンビア国、南アフリ
カ国の HIV/AIDS 問題と安全な水供給施設の現状を視察。
参加議員：長浜博行（民・衆）、黒岩宇洋（無・参）

11 月 18 日～23 日

キルギス国人口・開発事情視察議員団受入
日本の人口・開発事情視察のためスルタノフ・アリンバイ議員（キルギス国人口・開

発議員連盟会長) 団長、シャラポフ・ザキール議員、他 1 名の国会議員団を受入。

12 月 12 日～17 日

「第 19 回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議」

ベトナム国、ホーチミン市で開催された同会議には、アジア太平洋から 19 カ国の代表者、11 の国際機関、総勢 89 名が参加。過去 3 年間の人口と水問題に対する討議を総括し、人口と水の関連性を強く訴えかけた、「人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議 “アジアの水と人口—ホーチミン市宣言—”」を採択した。

12 月 13 日～20 日

ベトナム人口・開発事情視察議員団派遣。

ベトナム国の人口・開発事情視察のため大淵絹子(参・無)、長浜博行(衆・民)の 2 名の国会議員を派遣。同国ハノイ市の保健省やクワンニン州・カンパ地区、ホアビン州・ダバック地区(少数民族居住地区)を訪問。

平成 16 (2004) 年

5 月 26 日

国際人口問題議員懇談会合同部会開催。トラヤ・オベイド UNFPA 事務局長が、中山太郎 JFPF 会長・APDA 理事長、谷津義男 JFPF 幹事長、清水嘉与子 JFPF 事務総長・APDA 副理事長と会談。

6 月 3 日

バダウイ・マレーシア首相を中山太郎 JFPF 会長・APDA 理事長、鹿野道彦 JFPF 会長代行・APDA 理事、清水嘉与子 JFPF 事務総長・APDA 副理事長が表敬。尾崎美千生 APDA 常務理事・事務局長と楠本修事務局長補佐・主任研究員が同行。

6 月 29 日～30 日

AFPPD 女性大臣・議員会議に谷津義男 AFPPD 議長、川橋幸子参議院議員、尾崎美千生 APDA 常務理事・事務局長が参加。谷津義男 AFPPD 議長が開会挨拶、川橋幸子参議院議員がパネルディスカッションで日本の経験を発表。

7 月 14 日～16 日

スティーブン・シンディング・IPPF 事務局長、ヴァレリー・ディリィリポ IPPF 資金調達・渉外・広報部長、中村百合・IPPF 資金調達・日本信託基金オフィサーが中山太郎・JFPF 会長谷津義男 JFPF 幹事長、桜井新 JFPF 副会長、福田康夫議員(衆・自民)と小宮山洋子(衆・民主)を表敬。

7 月 19 日～23 日

IPPF 東・東南アジア・太平洋地域ラウンドテーブルならびに AFPPD 運営委員会参加のため、谷津義男 AFPPD 議長、尾崎美千生常務理事・事務局長、楠本修事務局長補佐・主任研究員を派遣。

8月6日～16日

JTF 西部アフリカ視察のため、桜井新（参・自民）APDA 理事、能勢和子（衆・自民）、長浜博行（衆・民主）、高橋千秋（参・無）、尾崎美千生常務理事・事務局長、木村亮子プログラムオフィサーをカメルーン、セネガル、チュニジアに派遣。3カ国の人口、HIV/AIDS、リプロダクティブヘルス、安全な飲料水について UNFA や JICA 等の施設を訪問、各国関連省庁大臣、議員、日本大使、施設スタッフ、に現地事情を聞く。

8月31日～9月2日

IPPF（国際家族計画連盟）グローバルラウンドテーブルに中山太郎・元外相・国際人口問題議員懇談会会長・APDA 理事長、谷津義男 AFPPD 議長、尾崎美千生常務理事・事務局長を派遣。谷津 AFPPD 議長が開会式で、中山理事長がガラディナーで挨拶を行った。

9月25日～10月3日

第20回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議（通称 APDA 会議）開催のため、清水嘉与子（参・自民）APDA 副理事長、桜井新（参・自民）APDA 理事、長浜博行（衆・民主）、武山百合子（衆・民主）、尾崎美千生・APDA 常務理事・事務局長、楠本修事務局長補佐・主任研究員、木村亮子プログラムオフィサー、竹本将規研究員をカザフスタン国アルマティへ派遣。会議には、アジア太平洋地域から19カ国の代表者、12の国際機関、総勢70人が参加。プライマリーヘルスケアの分野で重要な役割を果たしたアルマタ宣言の再検討と ICPD の実施状況について討議し、「人口と開発に関するアルマティ宣言」を採択した。

9月30日～10月4日

APDA 会議に引き続き、カザフスタンで派遣事業を実施のため、長浜博行（衆・民主）、武山百合子（衆・民主）、木村亮子プログラムオフィサーを派遣。旧都アルマティと首都アスタナを拠点に IPPF プロジェクトサイト、農業省関連施設を訪問。農業省次官や現地スタッフにカザフスタン国の人口と農業・農村開発およびリプロダクティブヘルス事情について視察を行う。

10月17日～21日

フランス・ストラスブールの欧州評議会本会議場で開催された「第2回国際人口開発会議行動計画実施のための国際議員会議（IPCI）」参加のため谷津義男 AFPPD 議長、尾崎美千生常務理事・事務局長、楠本修事務局長補佐・主任研究員を派遣。谷津 AFPPD 議長が起草委員長を務め、APDA が起草委員長の事務局を務めた。

12月6日～11日

カザフスタン上院家族委員会代表団を受け入れ。団長：ベクスルタン・トゥトウクシエフ同委員長、団員：アスカー・クジャガリエフ議員、エジェニー・アマン議員が参加。国立社会保障・人口問題研究所、ジョイセフ、国会議事堂、神戸都市情報センターを訪問、日本の人口転換と経済開発の経験を視察し、人口懇メンバーと懇談。尾崎美千生 APDA 常務理事・事務局長、木村亮子 APDA 国際課プログラム・オフィサー、恒川ひとみ国際課プログラム・オフィサーが参加。

12月7日

国際人口問題議員懇談会（JFPF）30周年記念事業講演会ならびにレセプションを日本プレスセンターで開催。トラヤ・オベイド UNFPA 事務局長、スティーブン・シンディング国際家族計画連盟（IPPF）事務局長が講演。レセプションでは中山太郎 JFPF 会長、安倍晋三・自民党副幹事長代理他が挨拶。

12月13日

マレーシア・クアラルンプールで国際医療国会議員会議（IMPO）－AFPPD 会議開催。中山太郎 IMPO 会長が参加。

12月18日

国内セミナーを埼玉県南埼玉郡宮代町で実施。講師に評論家樋口恵子、武山百合子衆議院議員。テーマ「“高齢化なんて怖くない” 評論家樋口恵子さんと語る『イキイキ人生』」、200人以上が参加。尾崎美千生事務局長、恒川ひとみプログラム・オフィサーが出席。

平成 17（2005）年

2月24日

桜井新参議院議員（アフリカ視察団長）が細田官房長官に日本政府に対する提言書を提出。視察団メンバーの能勢和子衆議院議員、高橋千秋参議院議員、尾崎美千生事務局長、木村亮子プログラム・オフィサーが同席。

3月23日

国際人口問題議員懇談会・総会を参議院議員会館会議室で開催。

- (1) 平成 17 年度事業計画・収支予算
- (2) 役員人事について
- (3) 会則の運用改定について
- (4) UNFPA 緊急支援報告（池上清子 UNFPA 東京事務所長）

4月29日～30日

緊急時における人口をテーマにカンボジア国プノンペン市で「第 21 回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議（APDA 会議）」開催。日本からの参加者は、清水嘉与子（参・自）APDA 副理事長、谷津義男（衆・自）AFPPD 議長、長浜博行（衆・民）、武山百合子（衆・民主）、海江田万里（衆・民）、生方幸夫（衆・民）、尾崎美千生事務局長、楠本修事務局長補佐、木村亮子プログラムオフィサー、恒川ひとみ国際課・プログラムオフィサー。会議には、アジア太平洋から 16 カ国の代表国会議員、国際機関、7 カ国の国内委員会、AFPPD、APDA、総数 95 名が参加。

5月1日～5日

APDA 会議に引き続き、カンボジア国の人口・開発事情視察のために、武山百合子（衆・民主）、海江田万里（衆・民主）、生方幸夫（衆・民主）、尾崎美千生事務局長、恒川ひとみプログラムオフィサーを派遣。同国プノンペン市とシェムリアップ市の HIV/エイズ、リプロダクティブヘルスサービスの現状及び、地雷、貧困問題について、UNFPA やカンボジア家族計画協会、JICA などの施設を訪問、保健大臣と CAPPDA と協議を行い、現地事情を聞く。

5月1日～8日

APDA 会議に引き続き、「スマトラ沖大地震・津波被害における緊急支援視察と人口・開発問題に関する議員活動活性化プログラム」実施のために桜井新（参・自）、清水嘉与子（参・自）、長浜博行（衆・民）、楠本修事務局長補佐を、タイ、マレーシア、インドネシアに派遣。プーケット、バンコク、クアラルンプール、メダン、バンダアチエ、ジャカルタを訪問し、津波被災地の視察を行い、各国人口・開発議員連盟と活動活性化のための協議を行う。

5月12日

国際人口問題議員懇談会・女性問題部会開催。松本清一（社）日本家族計画協会会長が「性の健康を考える一女性の健康と少子化をめぐって」と題し、性と少子化をとりまく問題について講演を行う。

5月19日

国際人口問題議員懇談会・国際協力部会をNPO法人2050との共催で開催。五月女光弘・外務省参与・NGO大使が日本に求められる国際貢献について講演を行う。

6月20日

スティーブン・シンディング IPPF 事務局長、ラージ・カリム IPPF 東・東南アジア・オセアニア地域事務局長、中村百合 IPPF 資金調達・日本信託基金オフィサーが、桜井新議員（参・自民）、清水嘉与子議員（参・自民）、福田康夫議員（衆・自民）、谷津義男議員（衆・自民）、南野知恵子法務大臣を表敬。尾崎美千生事務局長が同席。

6月23日

スティーブン・シンディング IPPF 事務局長、ラージ・カリム IPPF 東・東南アジア・オセアニア地域事務局長、中村百合 IPPF 資金調達・日本信託基金オフィサーが、中山太郎議員（衆・自民）、鹿野道彦議員（衆・民主）を表敬。尾崎美千生事務局長が同席。

6月23日

国際人口問題議員懇談会を赤坂プリンスホテルにて開催。スティーブン・シンディング IPPF 事務局長が講演を行う。

7月8日

国際人口問題議員懇談会・地球環境部会（NPO2050 国会議員ワークショップ/APDA 後援）。講師はサフィエ・チャーUNFPA 広報渉外局長、テーマは「貧困と女性」。植竹繁雄議員（衆・自民）、神風英男議員（衆・民主）、須藤浩議員（衆・民主）、増子輝彦議員（衆・民主）、井上喜一議員（衆・自民）、広中和歌子議員（参・民主）、清水嘉与子議員（参・自民）、ツルネン・マルティ議員（参・民主）、若林秀樹議員（参・民主）が参加。尾崎美千生事務局長と木村亮子プログラムオフィサーが同席。

10月13日

国際人口問題議員懇談会・国際協力部会（NPO2050 国会議員ワークショップ/APDA 後援）を参議院議員会館・特別会議室で開催。“HIV/エイズ”というテーマで樽石正義・慶応義塾大学文学部教授が講演。部会には加藤修一議員（参・公）、黒岩宇洋議員（参・無）、小宮山洋子（衆・民）、清水嘉与子（参・自）、神風英男議員（衆・民）、高木美智代議員（衆・公）、ツルネン・マルティ議員（参・民）、長浜博行（衆・民）、広中和歌子（参・民）、福島啓史郎議員（参・自）、前田武志（参・民）、APDA からは尾崎美千生事務局長が参加。

10月17日

「ICPD 行動計画実施のための 2006 年国際国会議員会議（IPCI-ICPD）運営委員会」を東京・赤坂プリンスホテルで開催。運営委員会には、人口と開発に関するアジア国会議員フォーラム（AFPPD）、人口と開発に関するアフリカ・アラブ議員フォーラム（FAAPPD）、人口と開発に関するアメリカ地域議員フォーラム（IAPG）、ヨーロッパ地域人口開発国会議員フォーラム（IEPPFD）、地球規模的活動のための国会議員連盟（PGA）から、代表国会議員と事務局が参加。APDA からは尾崎事務局長、楠本修事務局長補佐が参加。

10月17日

都内ホテルで、公開シンポジウム「世界の国会議員が語る“ミレニアム開発目標と人口問題”」を開催。人口と開発に関する各地域議員連盟からパネリストを迎え、MDGs および人口問題に関してディスカッションを行った。コーディネーターは国際人口問題議員懇談会副会長・広中和歌子参議院議員。

10月18日

IPCI-ICPD 運営委員会参加者が、外務省と国際協力機構（JICA）を訪問。逢沢一郎副大臣と小島誠二 JICA 筆頭理事と会談。事務局は尾崎事務局長、木村亮子・国際課プログラムオフィサー、恒川ひとみプログラムオフィサーが同行。

10月21日

国際人口問題議員懇談会幹部会を都内で開催。UNFPA・IPPF に対する来年度予算説明、津波被災地視察報告、AFPPD ジャカルタ総会報告、マレーシア・エイズ会議報告を行なう。中山太郎議員（衆・自）、福田康夫議員（衆・自）、谷津義男議員（衆・自）、櫻井新議員（参・自）、清水嘉与子議員（参・自）、南野知恵子（参・自）、長浜博行（衆・民）、岡庭健・外務省開発計画課長、ウェッターワルド国連人口基金（UNFPA）資金調達部長、スティーブン・シンディング国際家族計画連盟（IPPF）事務局長、池上清子 UNFPA 東京事務所長、石井澄江 JOICPF 常務理事・事務局長が出席。APDA からは尾崎美千生事務局長、楠本修事務局長補佐、木村亮子プログラムオフィサーが参加。

10月28日

国際人口問題議員懇談会総会・合同部会および第2回津波被災地視察事業説明会・結団式を都内で開催。井上喜一議員（衆・自）、今村雅弘議員（衆・無）、大口善徳議員（衆・公）、小宮山洋子議員（衆・民）、近藤基彦議員（衆・自）、櫻田義孝議員（衆・自）、神風英男議員（衆・民）、中川正春議員（衆・民）、中森ふくよ議員（衆・自）、中山太郎議員（衆・自）、西村明宏議員（衆・自）、福田康夫議員（衆・自）、三ツ林隆志議員（衆・自）、谷津義男議員（衆・自）、吉田六左エ門議員（衆・自）、加藤修一議員（参・公）、櫻井新議員（参・自）、清水嘉与子議員（参・自）、関谷勝嗣議員（参・自）、広中和歌子議員（参・民）、前田武志議員（参・民）、山本順三議員（参・自）、若林正俊議員（参・自）、若林秀樹議員（参・民）、和田ひろ子議員（参・民）が参加。平野博文（衆・民）、南野知恵子（参・自）両議員は代理出席。APDA からは尾崎美千生事務局長、楠本修事務局長補佐、木村亮子プログラムオフィサー、恒川ひとみプログラムオフィサーが参加。

11月4日～13日

第2回「スマトラ沖大地震・津波被害における緊急支援視察と人口・開発問題に関する議員活動活性化プログラム」を実施。櫻井新議員（参・自）、高橋千秋議員（参・民）、和田ひろ子議員（衆・民）、前田英司・毎日新聞社外信部記者が参加。楠本修事務局長補佐が同行。インド国タミルナドゥ州、スリランカ国カルタラ県・ゴール県、モルディブ国を訪問し、津波被災地の生活復興を中心に視察を行い、各国人口・開発議員連盟と活動活性化のための協議を行う。

11月12日～13日

第8回人口と開発に関するアジア国会議員フォーラム（AFPPD）総会がジャカルタのインドネシア国会議事堂で開催、日本からは谷津義男（衆・自）、福田康夫（衆・自）、神風英男（衆・民）が参加。福田康夫議員をAFPPD新議長に選出。APDAから尾崎美千生事務局長、木村亮子プログラムオフィサーが出席。

11月24日

国際人口問題議員懇談会・女性問題部会（NPO2050国会議員ワークショップ/APDA後援）を参議院議員会館特別会議室で開催。テーマは“日本と世界～高齢者をめぐる女性の問題と対応”、講師は樋口恵子・高齢社会をよくする女性の会代表。部会には郡和子（衆・民）、和田ひろ子（参・民）が出席。APDAから竹本将規研究員と木村亮子プログラムオフィサーが参加。

12月14日

シフ・カレー人口と開発に関するアジア国会議員フォーラム（AFPPD）事務局長が来日。福田康夫・AFPPD議長と協議を行う。楠本修事務局長補佐・主任研究員が同席。

平成18（2006）年

1月25日

国際人口問題議員懇談会・地球規模部会（NPO2050国会議員ワークショップ/APDA後援）を参議院議員会館で開催。有森裕子・国連人口基金（UNFPA）親善大使が講演。長浜博行（衆・民）、山際大志郎（衆・自）、西村明宏（衆・民）各議員が参加。櫻井新（参・自）、清水嘉与子（参・自）、神風英男（衆・民）各議員は代理出席。APDAからは尾崎美千生事務局長、木村亮子・国際課プログラムオフィサー、恒川ひとみプログラムオフィサーが参加。

1月31日

「スマトラ沖大地震及びインド洋津波被害に対する国際機関を通じた支援・国際機関を交えた支援報告会」が外務省で開催。尾崎美千生事務局長、恒川ひとみプログラムオフィサーが参加。

2月1日

国際人口問題議員懇談会幹部会・総会を都内のホテルで開催。幹部会には中山太郎（衆・自）、福田康夫（衆・自）、谷津義男（衆・自）、櫻井新（参・自）、清水嘉与子（参・自）、小宮山洋子（衆・民）、竹本直一（衆・自）、福島豊（衆・公）、森山真弓（衆・自）、吉野正芳（衆・自）、関谷勝嗣（参・自）、高橋千秋（参・民）、中川義雄（参・自）各議員が出席。

総会には上記議員に加え、阿部知子（衆・社）、今村雅弘（衆・無）、三ツ林隆志（衆・自）、柏村武昭（参・自）、末松信介（参・自）、松下新平（参・民）、円より子（参・民）、山内俊夫（参・自）が参加。平野博文（衆・民）愛知和男（衆・自）、小池百合子（衆・自）、郡和子（衆・民）、土井亨（衆・自）、中川昭一（衆・自）、中川義雄（参・自）、前田武志（参・民）、松浪健太（衆・自）、山本順三（参・自）各議員は代理出席。

事務局からは尾崎美千生事務局長・常務理事、楠本修事務局長補佐、木村亮子プログラムオフィサーが出席。

2月22日

JFPF 幹部による勉強会を参議院・少子高齢化社会問題調査会委員長室で開催。清水嘉与子（参・自）、福田康夫（衆・自）、広中和歌子（参・民）、南野知恵子（参・自）、逢沢一郎（衆・自）、竹本直一（衆・自）各議員、尾崎美千生事務局長、楠本修主任

研究者、木村亮子プログラムオフィサーが参加。福島豊（衆・公）は代理出席。

3月22日

国際人口問題議員懇談会・国内対策部会（NPO2050 国会議員ワークショップ/APDA 後援）を開催。「超少子化を迎えた日本」をテーマに阿藤誠・早稲田大学特任教授が講演。広中和歌子（参・民）、和田ひろ子（参・民）、ツルネン・マルティ議員（参・民）、山際大志郎（衆・自）各議員が参加。事務局からは尾崎美千生事務局長・常務理事、木村亮子プログラムオフィサーが参加

4月19日

APDA 会議とインド国人口・開発事情視察の結団式開催。外務省、JICA、UNFPA から各国事情と現地の活動について説明を受ける。

4月23日～24日

「第22回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議」をインド国ニューデリーで開催。「グローバル化するアジアにおける人口」をテーマにグローバリゼーションが人口問題に与える光と影について討議を行い、アジア・太平洋17カ国の代表国会議員、国際機関、8カ国の国内委員会事務局、総数90名が参加。日本からは、福田康夫（衆・自）、櫻井新（参・自）、柏村武昭（参・自）各議員が参加。事務局からは楠本修事務局長代行、竹本将規業務課長・研究者、木村亮子渉外課長、恒川ひとみ国際課長が参加。

4月25日～28日

APDA 会議に引き続き、インド国の人口・開発事情視察のため、櫻井新（参・自）、竹本直一（衆・自）、柏村武昭（参・自）各議員を派遣。同国ニューデリー市とラジャスタン州ウダイプール市の HIV/エイズ、リプロダクティブヘルスサービスの現状および、貧困問題について、UNFPA やインド家族計画協会、JICA などの施設を訪問、現地事情を聞く。事務局からは楠本修事務局長代行、恒川ひとみ国際課長が同行

5月12日

トラヤ・オベイド国連人口基金（UNFPA）事務局長、サフィエ・チャー同広報渉外局長を迎え国際人口問題議員懇談会幹部会を開催。中山太郎会長（衆・自）、広中和歌子会長代行（参・民）、関谷勝嗣副会長（参・自）、櫻井新副会長（参・自）、南野知恵子副会長（参・自）、逢沢一郎幹事長（衆・自）、太田豊秋国内部会長（参・自）、和田ひろ子国内副部会長（参・民）、高橋千秋（参・民）が出席。長浜博行（衆・民）は代理出席。UNFPA からは池上清子 UNFPA 東京事務所長、石川かえ UNFPA 資金調達官、事務局からは楠本修事務局長代行、木村亮子渉外課長・恒川ひとみ国際課長が出席。

5月25日

UNFPA・AFPPD の調査事業グローバルサーベイ実施のため、楠本修事務局長代行、竹本将規業務課長が櫻井新参議院議員事務所を訪問。櫻井議員への聞き取りを行う。

5月26日

UNFPA・AFPPD の調査事業グローバルサーベイ実施のため、楠本修事務局長代行、竹本将規業務課長が谷津義男衆議院議員事務所・清水嘉与子参議院議員事務所を訪問。谷津議員・清水議員への聞き取りを行う。

5月30日

UNFPA・AFPPD の調査事業グローバルサーベイ実施のため、竹本将規業務課長、木村亮子業務課長が南野知恵子参議院議員事務所を訪問。南野議員への聞き取りを行う。

6月9日～13日

福田康夫衆議院議員がニュージーランドで開催された第4回女性国会議員・大臣会議に出席。楠本事務局長代行が同行。

6月14日～16日

スティーブン・シンディング IPPF 事務局長、バレリー・デフィリが資金調達・渉外・広報部長、中村百合 IPPF 資金調達・日本信託基金オフィサーが、中山太郎（衆・自民）、福田康夫（衆・自民）、谷津義男（衆・自民）、櫻井新（参・自民）、清水嘉与子（参・自民）、小宮山洋子（衆・民主）各議員を表敬。楠本事務局長代行・木村渉外課長が同行。

6月16日

国際人口問題議員懇談会総会を都内ホテルにて開催。

- ①. 平成17年度事業・収支決算報告
- ②. 平成18年度事業経過報告
- ③. 平成18年度事業予定
- ④. 「提言」の検討と採択
- ⑤. スティーブン・シンディング IPPF 事務局長講演

中山太郎会長（衆・自）、清水嘉与子事務総長（参・自）、福田康夫副会長（衆・自）、関谷勝嗣副会長（参・自）、櫻井新副会長（参・自）、南野知恵子副会長（参・自）、森山真弓副会長（参・自）、逢沢一郎幹事長（衆・自）、太田豊秋国内部会長（参・自）、高橋千秋副事務総長（参・民）、三ツ林隆志（衆・民）、吉野正芳（衆・自）、柏村武昭（参・自）、前田武志（参・民）、秋葉賢也（衆・自）、西村明宏（衆・自）各議員が出席。津島雄二（衆・自）、谷川秀善（参・自）、長浜博行（衆・民）、福島豊（衆・公）、各議員は代理出席。中村百合 IPPF 資金調達・日本信託基金オフィサー、石井澄江 JOICFP 常務理事・事務局長、矢口真琴 JOICFP 職員、広瀬次雄 APDA 顧問、楠本事務局長代行、木村渉外課長、恒川国司課長が同席。

7月3日

プラソップ・ラッタナコーン前 AFPPD 事務総長が来日。中山太郎（衆・自民）、谷津義男（衆・自民）、福田康夫（衆・自民）各議員を表敬。楠本事務局長代行が同席。

7月13日

国際人口問題議員懇談会・国内対策部会（NPO2050 国会議員ワークショップ/APDA 後援）を開催。広中和歌子（参・民）、清水嘉与子（参・自）、南野知恵子（参・自）、加藤修一（参・公）、前田武志（参・民）、小宮山洋子（衆・民）、泉健太（衆・民）各議員が主席。柏村武昭（参・自）、末松信介（参・自）、ツルネン・マルティ（参・民）、福島 みずほ（参・社）、山本順三（参・自）、重野安正（衆・社）、末松信介（衆・自）、柚木道義（衆・民）、横光克彦（衆・民）、高木美智代（衆・民）各議員は代理出席。楠本事務局長代行、木村渉外課長が同席。

8月11日

楠本事務局長代行、木村渉外課長が外務省、長島忠美衆議院議員、清水嘉与子参議院議員を訪問。2006年 JTF 事業「リプロダクティブ・ヘルス及び地域の相互扶助能力の向上を通じた持続可能な災害管理と復興に関する国会議員会議および視察プログラム」について協議を行う。

8月18日

清水嘉与子 JPPF 事務総長より、JPPF 提言を安倍晋三官房長官に提出。

9月19日

「リプロダクティブ・ヘルスおよび地域の相互扶助能力の向上を通じた持続可能な災害管理と復興に関する国会議員会議」を都内ホテルで開催。タイ、マレーシア、イン

ドネシア、インド、スリランカ、モルディブ、パキスタンから国会議員14名が参加。日本からは、福田康夫（衆・自）、清水嘉与子（参・自）、櫻井新（参・自）、小杉隆（衆・自）、関谷勝嗣（参・自）、和田ひろ子（参・民）、大野松茂（衆・自）各議員が参加。事務局からは楠本事務局長、竹本業務課長、木村渉外課長、恒川国際課長が参加。

9月20日～23日

「リプロダクティブ・ヘルスおよび地域の相互扶助能力の向上を通じた持続可能な災害管理と復興に関する国会議員視察プログラム」を実施。都内では外務省、ジョイセフ、東京消防庁ハイパーレスキュー隊を視察。新潟県では、新潟県庁、国土交通省北陸事務所、長岡市役所、旧山古志村を訪問し、母子保健、災害復旧とコミュニティの自助努力について説明を受けた。中野正則外務省国際協力局人道支援室首席事務官、池上清子 UNFPA 東京事務所長が同行。事務局からは楠本事務局長、木村亮子渉外課長、恒川ひとみ国際課長が参加。

10月6日

「国際人口問題議員懇談会（JPPF）役員会」を参議院特別会議室で開催。APDA 事業報告ならびに鶴岡公二・外務省地球規模課題審議官より「平成19年度 UNFPA-IPPF に対する ODA 拠出」、「国連人口基金（UNFPA）事務局次長人事」および、「国際的な人の移動と開発に関する国連ハイレベル対話」報告、池上 UNFPA 東京事務所長より「世界人口白書」について報告があった。参加議員は、中山太郎・会長（衆・自）、森山真弓・副会長（衆・自）、関谷勝嗣・副会長（参・自）、櫻井新・副会長（参・自）、南野知恵子・副会長（参・自）、逢沢一郎・幹事長（衆・自）、清水嘉与子・事務総長（参・自）、竹本直一・副幹事長（衆・自）、福島豊・副幹事長（衆・公）、高橋千秋・副事務総長（参・民）各議員。長浜博行（衆・民）、中川義雄（参・自）、谷津義男（衆・自）各議員は代理出席。外務省からは鶴岡公二・地球規模課題審議官、大菅岳史・多国間協力課長、辰巳知恵子・多国間協力課職員、UNFPA からは池上清子東京事務所長、上野ふよう東京事務所長代理、事務局からは楠本事務局長、竹本業務課長、木村渉外課長、恒川国際課長が参加。

11月8日

マリー・シモネン UNFPA 事務局次長、石川かえ資金調達オフィサーが訪日。中山太郎（衆・自）、清水嘉与子（参・自）、櫻井新（参・自）、福田康夫（衆・自）、谷津義男（衆・自）、逢沢一郎（衆・自）各議員を表敬。楠本事務局長と木村渉外課長が同席。

11月10日

スルタン・アジズ UNFPA アジア太平洋局長が訪日。谷津義男議員（衆・自）を表敬。楠本修常務理事・事務局長が同席。

11月14日

大崎敬子国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）人口課長が福田康夫 AFFPD 議長表敬。バンコクで開催される IPCI について協議。楠本修常務理事・事務局長が同席。

11月15日

「国際人口開発会議（ICPD）行動計画実施のための国際国会議員会議（IPCI/ICPD）」結団式および説明会を参議院議員会館にて開催。中山太郎（衆・自）、清水嘉与子（参・自）、福田康夫（衆・自）各議員が出席。秋葉賢也（衆・自）議員は代理出席。外務省からは、黒江浩介・南東アジア第一課課長補佐、中島敏・南東アジア第一課地域調整官、大菅岳史・多国間協力課課長、辰巳知恵子・多国間協力課担当官、UNFPA からは上野ふよう・東京事務所長補佐が参加。事務局からは楠本事務局長・常務理事、木村渉外課長、恒川国際課長が同席。

11月16日

国際人口問題議員懇談会・地球規模問題部会を NPO2050、国連人口基金（UNFPA）、家族計画国際協力財団（ジョイセフ）と参議院特別会議室で共催。安藤博文・日本大学総合研究大学教授（元国連人口基金事務局次長）が「人口の政治・社会的影響」について講演。長浜博行（地球問題部会長：衆・民）、櫻井新（参・自）、中川義雄（参・自）、神風英男（衆・民）、山際大志郎（衆・自）、郡和子（衆・民）、楠本修常務理事・事務局長、木村渉外課長が参加。

11月21日～22日

福田康夫（衆・自）AFPPD 議長、秋葉賢也（衆・自）各議員が、バンコクで開催された 2006 年 IPCI/ICPD 会議に出席。楠本常務理事・事務局長、木村渉外課長、恒川国際課長が同行。

11月23日

AFPPD 運営委員会がバンコクで開催。福田康夫（衆・自）AFPPD 議長が参加。楠本常務理事・事務局長、恒川国際課長が同席。

11月27日

ジル・グリア IPPF 新事務局長、ヴァレリー・デフェリポ資金調達部長、中村百合 IPPF 資金調達・日本信託基金オフィサーが来日。清水嘉与子議員（参・自民）を表敬。楠本常務理事・事務局長、木村渉外課長が同行。

11月28日

ジル・グリア IPPF 新事務局長、ヴァレリー・デフェリポ資金調達部長、中村百合 IPPF 資金調達・日本信託基金オフィサーが、中山太郎（衆・自）、谷津義男（衆・自）、櫻井新（参・自）、福田康夫（衆・自）、南野知恵子（参・自）、小宮山洋子（衆・民）各議員と会談。楠本常務理事・事務局長、木村渉外課長が同行。

11月30日

国際人口問題議員懇談会・合同部会（NPO2050 国会議員ワークショップ/APDA 後援）を参議院特別会議室で開催。小島ブンゴード孝子（ユーロ・ジャパン・コミュニケーション社代表）が「高齢化と介護政策—デンマークの経験の学ぶ」について講演。広中和歌子（参・民）、清水嘉与子（参・自）、関谷勝嗣（参・自）、重野安正（衆・社）が参加、三ツ林隆志（衆・自）、谷川秀善（参・自）が代理参加、楠本常務理事・事務局長、木村渉外課長が参加。

12月13日

国際人口問題議員懇談会（JPPF）総会を参議院議員会館特別会議室で開催。

- (1) 平成 19 年度事業予定
- (2) 平成 19 年度予算
- (3) 2006IPCI/ICPD 報告
- (4) UNFPA 及び IPPF への 19 年度拠出金
- (5) UNFPA 人事

中山太郎・会長（衆・自）、福田康夫・副会長（衆・自）、関谷勝嗣・副会長（参・自）、櫻井新・副会長（参・自）、南野知恵子・副会長（参・自）、清水嘉与子・事務総長（参・自）、高橋千秋・副事務総長（参・民）、太田豊秋（参・自）、あべ俊子（衆・自）、和田ひろ子（参・民）、木俣佳丈（参・民）各議員が出席。

逢沢一郎・幹事長（衆・自）、長浜博行（衆・民）、神風英男（衆・民）、西村明宏（衆・自）、平野博文（衆・民）、三ツ林隆志（衆・自）、山際大志郎（衆・自）、黒岩宇洋（参・

民)、中川義雄(参・自)各議員は代理出席。外務省からは鶴岡公二・地球規模課題審議官、辰巳知恵子・多国間協力課外務事務官、事務局からは楠本修常務理事・事務局長、木村渉外課長、恒川国際課長が参加。

平成 19 (2007) 年

1 月 25 日

JFPF・合同部会(NPO2050 国会議員ワークショップ/APDA 後援)を参議院特別会議室で開催。講師は廣野良吉成蹊大学名誉教授で「世界の貧困:いま政治指導者に求められるもの」について講義。広中和歌子(参・民)、ツルネン・マルティ(参・民)、関谷勝嗣(参・自)が参加。事務局からは楠本常務理事・事務局長、木村亮子渉外課長が出席。

2 月 21 日

パメラ・ディラージーUNFP 人道支援室長、ジル・グリア IPPF 事務局長、和気邦男 UNFPA 前事務局次長が中山太郎(衆・自)、清水嘉与子(参・自)、櫻井新(参・自)、福田康夫(衆・自)、谷津義男(衆・自)、小宮山洋子(衆・民)各議員を表敬。楠本常務理事・事務局長が同席。

2 月 21 日

「第 23 回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議」参加者の歓迎夕食会(中山太郎 JFPF 会長主催)を開催。

2 月 22 日～23 日

「第 23 回人口と開発に関するアジア国会議員代表者会議」を都内で開催。アジア・太平洋州 20 カ国の代表国会議員、国際機関、国内委員会事務局、総数 70 名が参加。日本からは、扇千景(参・自)参議院議長、中山太郎(衆・自)、福田康夫(衆・自)、櫻井新(参・自)、清水嘉与子(参・自)、森山真弓(衆・自)、関谷勝嗣(参・自)、前田武志(参・民)、竹本直一(衆・自)、山際大志郎(自・衆)、秋葉賢也(衆・自)各議員が参加。事務局からは楠本常務理事・事務局長、竹本業務課長、木村渉外課長、恒川国際課長が参加。

2 月 22 日

APDA 設立 25 周年レセプションを都内で開催。柳澤伯夫・厚生労働大臣、麻生太郎・外務大臣、松岡利勝・農林水産大臣、トラヤ・オベイド UNFPA 事務局長(ディラージーUNFPA 人道支援室長の代読)、ジル・グリア IPPF 事務局長からの祝辞のほか、APDA 功労賞授与式、黒田俊夫先生をしのぶ会を開催。人口と開発に関する海外メンバー議員、JFPF 会員、駐日各国大使、NGO、有識者など総勢 160 名が参加。

2 月 23 日

AFPPD 運営委員会が都内ホテルで開催。福田康夫(衆・自)AFPPD 議長が参加。楠本常務理事・事務局長、恒川国際課長が同席。

3 月 15 日

JFPF・合同部会を、NPO2050、国連人口基金(UNFPA)、家族計画国際協力財団(ジョイセフ)と参議院特別会議室で共催。紺野美沙子・国連開発計画親善大使(女優、エッセイスト)が「私が、見た、感じた、国際協力」について講演。櫻井新(参・自)、広中和歌子(参・民)、平岡秀夫(衆・民)山際大志郎(衆・自)、楠本修常務理事・事務局長、木村亮子渉外課長が参加。

3月22日

マリー・シモネン UNFPA 事務局次長が福田康夫（衆・自）、清水嘉与子（参・自）、谷津義男（衆・自）各議員を表敬訪問。楠本常務理事・事務局長が同席。

3月23日

国際人口問題議員懇談会総会を開催。福田康夫 APDA 理事長・AFPPD 議長が JFPF 会長に就任し、中山太郎 JFPF 会長は最高顧問に就任。中山太郎 JFPF 会長（衆・自）、福田康夫 JFPF 副会長（衆・自）、櫻井新 JFPF 副会長（参・自）、逢沢一郎 JFPF 幹事長（衆・自）、小宮山洋子 JFPF 幹事（衆・民）、福島豊 JFPF 副幹事長、清水嘉与子 JFPF 事務総長（参・自）、秋葉賢也（衆・自）、神風英男（衆・民）、山際大志郎（衆・自）各議員が出席。谷津義男 JFPF 副会長（衆・自）は代理出席。事務局からは楠本常務理事・事務局長、木村渉外課長、恒川国際課長が出席。

4月26日

パキスタン国人口・開発事情視察の結団式開催。外務省、国際協力機構（JICA）、UNFPA、家族計画国際協力財団（ジョイセフ）から各国事情と現地の活動について説明を受ける。福田康夫 JFPF 会長（衆・自）、櫻井新 JFPF 副会長（参・自）、清水嘉与子 JFPF 事務総長（参・自）、秋葉賢也議員（衆・自）が出席。事務局からは楠本常務理事・事務局長、木村渉外課長が出席。

4月30日～5月5日

パキスタン国人口・開発事情視察のため、櫻井新 JFPF 副会長（視察団団長：参・自）、清水嘉与子 JFPF 事務総長（参・自）、秋葉賢也議員（衆・自）を派遣。UNFPA、パキスタン家族計画協会（FPAP）、国際協力機構（JICA）、緊急開発支援機構（JADE）などの施設を訪問し、現地視察中のマリー・シモネン UNFPA 事務局次長と会談。パキスタン上院議長をはじめ、人口福祉大臣、保健省次官、文化・観光上院委員会委員長等と会談、協議を行う。楠本常務理事・事務局長、木村渉外課長が同行。

5月7日

トラヤ・オベイド UNFPA 事務局長と福田康夫 APDA 理事長（衆・自）が活動方針について協議を行う。サフィエ・チャー同広報渉外局長、スルタン・アジズ同アジア太平洋局長、池上清子 UNFPA 東京事務所長、楠本常務理事・事務局長、恒川国際課長が同席。
議。

5月8日

トラヤ・オベイド UNFPA 事務局長、サフィエ・チャー同広報渉外局長、スルタン・アジズ同アジア太平洋局長を迎え、国際人口問題議員懇談会総会を開催。福田康夫 JFPF 会長（衆・自）、広中和歌子 JFPF 会長代行（参・民）、櫻井新 JFPF 副会長（参・自）、南野知恵子 JFPF 副会長（参・自）、森山真弓 JFPF 副会長（参・自）、逢沢一郎 JFPF 幹事長（衆・自）、清水嘉与子 JFPF 事務総長（参・自）、中川義雄 JFPF 国内対策副会長（参・自）、津島雄二（衆・自民）、加藤修一（参・公）、前田武志（参・民）、秋葉賢也（衆・自）、神風英男（衆・民）阿部俊子（衆・自）、木俣佳丈（参・民）各議員が出席。谷津義男議員（衆・自）は代理出席。外務省から鶴岡公二地球規模課題審議官、大菅岳史多国間協力課長、大田賢多国間協力課事務官、UNFPA から池上清子 UNFPA 東京事務所長、上野ふよう同事務所長補佐、石川かえ同資金調達官が参加。事務局から楠本常務理事・事務局長、竹本業務課長、恒川国際課長が出席。

6月4日

APDA 新事務所開所式を開催。福田康夫 APDA 理事長（衆・自）、清水嘉与子 APDA 副理事長（参・自）、櫻井新 APDA 理事（参・自）、広中和歌子 JFPF 会長代行（参・民）、広瀬次雄 APDA 顧問、近泰男ジョイセフ理事長、APDA 職員が参列。